事業団だより

Harmony

2021.7
VOL.54
Harmony

「アジサイの花」

山梨市の利用者様に地元の紫陽花のきれいなお寺「放光寺」を教えてもらいました。満開の時期には庭一面が紫陽花の花で彩られるようです。

撮影者／サテライト桃源荘　**井田 憲治**さん

社会福祉法人
山梨県社会福祉事業団

令和2年度職員提案の表彰式を行いました

令和3年6月29日に令和2年度職員提案制度表彰式を行いました。本年度の職員提案は、職員の知恵やアイディア、創意工夫を生かした52件の提案があり、うち45件が採択され、厳正な審査のもと、年間最優秀賞、優秀賞、最多提案賞を選び、表彰しました。

事業団は、職員が常に利用者様の立場に立ったサービスを心がけ改善・改革が実践されるような組織風土の実現に向け、職員提案制度に取り組んでいます。

法人全体で、より一層の利用者サービスの向上に向け、職員一丸となって継続してまいります。

受賞した提案は、以下のとおりです。

最優秀賞 賞金1万円　きぼうの家　医務グループ　「新型コロナ肺炎感染症対策マニュアル」

現状	施設では、外部からのウイルスの侵入を防ぐよう、感染経路を遮断することが重要です。 万が一、感染が発生すると感染が急速に拡大するばかりか、感染者の受け入れ先との兼ね合いによっては、軽症の感染者は施設内で管理やケアを継続しなければならない状況が生じてくる可能性もあります。 そこで、新型コロナ肺炎感染症対策における「持ち込まない対策」と「拡げない対策」を職員一人ひとりが認識する必要があります。	提案内容	事前の対策と感染症発生時の具体的対応を定めたマニュアルを作成する。
		実施内容	新型コロナ肺炎感染症に関する事前の対策と感染症発生時の具体的対応を定めたマニュアルを作成し、職員に周知した。
		効果	新型コロナ肺炎感染症に関する対応への理解が深まり、職員一人ひとりが新型コロナ肺炎感染症への対策を認識できたことにより、適切かつ迅速な対応が行える。

受賞理由

令和2年度は、コロナウイルス感染症の脅威にさらされた1年でしたが、当事業団は、利用者様の感染者・入院者は1人も出しませんでした。全国で4,400以上もの福祉施設で約3万人の感染者が確認され、クラスターが発生した施設では運営が立ち行かなくなる事例も散見されました。コロナウイルスの発症者が本県で初めて確認されたのが令和2年の3月です。こうした中、いち早くわかりやすい感染症マニュアルを作成し、各施設でこれを共有したことが、「感染者ゼロ」につながったともいえます。

もちろん、看護師の業務といえばそうですが、又マニュアルだけで感染防止が図られたものでもありません。職員一人ひとりが常にコロナウイルスに対する危機意識をもって生活を送り、利用者様に接してきた賜物でもあります。この1年間の職員の努力に感謝するとともに、職員提案の象徴として最優秀とします。

優秀賞 賞金5千円

1	豊寿荘　主事　野沢 洋子	「養護と特養のオムツ購入業者の統一について」
2	明生学園　主任指導員　小川 勇太	「食事における児童の意見の反映について」
3	桃源荘　介護士　奥山 美和	「オリジナルリハビリ体操」
4	サテライト桃源荘　介護士　浅川みどり	「車椅子用名札」

最多提案賞 賞金5千円　もえぎ寮　支援員　今野 春彦　令和2年度中：7件

もえぎ寮 PR情報

ウォーキング

外出自粛などにより、もえぎ寮でも、毎週月曜日と金曜日に運動不足やコロナ太りの解消のため、参加者を募り約45分のウォーキングを始めました。

もえぎ寮周辺の季節の移り変わりを感じながら歩くのはとても気持ちが良く、利用者様にも楽しみな日課の一つになっているようです。

畑仕事

「生きがい支援プログラム」の生産活動として、昨年から畑仕事を始めました。

今年の春には、ジャガイモ・きゅうり・サツマイモなどの野菜のほかスイカの苗を植えました。

「今日は畑仕事をします。」の放送が流れると、一目散に畑へ向かう姿が微笑ましいです。収穫が楽しみですね。

令和2年度事業報告

Ⅰ 総括

昭和41年3月15日に社会福祉法人として設立認可を受けてから55年余が経過する中、事業団は、県から移管を受けた高齢者施設2施設、障害者支援施設3施設及び児童養護施設1施設と、平成27年3月に開設した特養、デイ、居宅等の複合施設サテライト桃源荘の計7施設を運営している。

平成17年に自主経営に移行してからは、「利用者本位」「健全経営」「地域貢献」の基本理念の下、職員一丸となって福祉サービスの向上と運営に努めるとともに、より完全なる自主自立経営に邁進してきたところであり、平成30年6月の移転改築から3年が経過するきぼうの家についても、この地域における障害者施設として定着しつつある。

こうした中、中国武漢に発生した新型コロナウイルス感染症は全世界で猛威を奮い、累計患者数は1億6千万人を突破、累計死者数は340万人超となり、全国の福祉施設においても、僅か1年で、4，400以上の施設において3万人弱の感染者が確認されている。幸いにも、本事業団施設において感染者は発生していないが、これは新型コロナウイルス感染症に対して職員一人ひとりが強い危機感を持ち、真摯に感染防止対策に取り組んできた成果であり、今後も緊張感を持って取り組んで参る。

さて、令和元年10月から消費税率が10％に引き上げられ、社会保障と税の一体改革に基づく制度の見直しは一区切りとなったが、2040年を見据えた社会保障制度改革は緒に就いたばかりで、「施設サービスから在宅サービスへ」「障害者の地域移行・地域生活支援へ」「家庭的養護の推進」という大きな流れは変えようもない。

令和3年度の報酬改定率は、介護0・7％、障害0・56％のプラス改定となったが、昨年4月施行された同一労働同一賃金への対応や労働時間を客観的に把握するためのICカード及び勤怠管理システムの導入に向けた対応、新型コロナウイルス感染症に係る感染防止対策など必要経費は増大しており、今後も厳しい経営環境は続くと予想される。

さて、事業団の経営ですが、基本理念に則って取組を進めたところ、まず「利用者本位」については、サービスの自己評価、顧客満足度調査、第三者委員からの提言などによって利用者一人ひとりのニーズを的確に把握し、その意向を尊重するとともに、福祉の専門集団として良質なサービスの提供に努めた。また、「コンプライアンス行動規範」及び「コンプライアンス行動基準」により、利用者のより一層の権利擁護を図り、利用者志向の職務遂行と良質かつ適切なサービスの提供に努めるとともに、相談解決体制や職員研修の充実などにより利用者本位の実現に取り組んだ。

次に、「健全経営」については、平成31年3月に改定した「経営計画」に基づき、設定した目標利用率を達成できるよう利用者確保に努めるとともに、法人一括契約など契約方法の見直し等により更なる経費削減に取り組んだ。また、適正な人員配置と組織体制の強化に努めるとともに、質の高いサービスを安定して提供できるように人材の確保と育成に努めた。なお、昨今の社会的ニーズや利用者ニーズと各施設の利用の実態に一部乖離が生じていること等から、各施設事業計画の評価、課題の抽出、解決策の検討等を行った。

さらに、「地域貢献」については、大規模災害時においても良質なサービスを継続して提供し、地域の災害時要援護者を受け入れることができるように、平成31年1月に「事業継続計画」を改定したところであるが、本年1月、各施設の大規模災害時避難計画を策定又は改定し、非常時における施設利用者の安全確保に万全を期した。また、地域との共生を進めるため、施設機能の活用・開放に積極的に取り組むとともに、地域の福祉団体と協働した体験活動や認知症サポート事業所としての活動等に取り組んだ。

次に、事業活動については、質の高いサービスの提供に努めるとともに、市町村と連携を密にして空床の解消や空床期間の短縮等に努めたところ、豊寿荘の養護、特定及び特養、桃源荘の小規模特養並びにもえぎ寮において前年度の利用率を上回ったものの、新型コロナウイルスの感染拡大の影響等から、サテライト桃源荘のデイサービスや認知症デイサービス及び桃源荘の短期入所の利用者は激減し、きぼうの家の就労移行支援も利用者が少なく厳しい状況が続いている。また、はまなし寮は、退所後に新たな入所者が入らない状況がなかなか改善されず、明生学園も入所児童が3人減の25人となったが、どちらも前年度並みの収支差額を確保した。その結果、収支差額比率は、改定後の「経営計画」に掲げた目標4・7％を下回る3・6％となった。

なお、改正社会福祉法により、福祉サービスに再投下可能な財産（社会福祉充実財産）が生じた場合は、「社会福祉充実計画」を作成することとされているが、令和2年度決算に基づいて算定した結果、社会福祉充実財産は生じない見込みとなっている。

1 利用者本位

(1) 地域の福祉ニーズに即した新事業への取組の推進

高齢者や障害者の多様なニーズに対応するため、これまで培ってきた介護・支援のノウハウや精神を活かし、地域の福祉ニーズに即した新事業が展開できないか、他施設の取組事例等を研究した

(2) 自己評価と顧客満足度調査を活用したサービスの向上

利用者一人ひとりのニーズを的確に把握し、利用者の視点に立った質の高いサービスを提供するため、各施設において、サービスの「自己評価」と利用者に対する「顧客満足度調査」を実施し、サービス向上に取り組んだ。

(3) コンプライアンスとリスクマネジメントの徹底

「コンプライアンス行動規範」及び「コンプライアンス行動基準」により、利用者のより一層の権利擁護を図り、利用者志向の職務遂行と良質かつ適切なサービスの提供に努めた。

また、リスクマネジメントを徹底することにより、介護事故と施設内虐待の未然防止に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症については、安心してサービスを利用していただくため感染防止対策の徹底を図り、さらに万一感染者が発生した場合における対応等について情報を共有し、発生時の対応にも万全を期した。

(4) 職員提案による介護・支援の改善と活力ある職場の創造

職員提案・職員表彰制度により、職員自らの業務改善提案を通じて施設運営への参加意識を醸成し、組織の活性化を図ったところ、令和2年度は52件の提案があり、45件が採択され、すべてが実施に至っている。

制度創設から7年が経過し、提案件数は減少傾向にあるものの、令和2年度は前年度と同程度の提案があり、利用者へのサービス向上やリスク管理、業務の効率化等に効果を上げた。

(5) 相談解決体制の充実

介護や支援に対する相談、苦情又は要望への相談体制と第三者による相談対応窓口について、利用者や家族に周知するとともに、相談等について、職員相談対応マニュアルに基づき適切に対応した。

(6) 相談解決体制の充実

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、多くの県外研修等を中止とする一方、職員の意識と介護技術や専門性の向上を図るため、開催時期を工夫し、又はできる限りビデオ会議ツールなどを用いてオンライン研修を実施し、人材育成によるサービスの質の向上を図った。

2 健全経営

(1) 健全経営の推進

① 「経営計画」に基づいて設定した目標利用率を達成できるよう、市町村など関係機関と連携を密にして利用者確保及び迅速な入所手続に努めた。

② 栄養マネジメント加算、看護体制加算、福祉専門職員配置等加算など各種報酬加算を継続して適用し、増収に努めた。

③ 消防設備保守点検業務、給食業務等に継続して入札を実施するとともに、桃源荘空調設備及び給湯設備改修工事に一般競争入札並びにサテライト桃源荘厨房機器等の導入、勤怠管理システムの導入等に指名競争入札を行い、経費削減に努めた。なお、軽油及びガソリンの契約方法を見直し、LPGにフォーミュラ価格を、及び電気料金へキャップを設けた市場連動メニューを適用させている。

(2) 理事会等の開催

① 理事会

事業計画、収支予算等の決議、事業報告・計算書類等の承認等を行うため、年2回理事会を開催した。

② 評議員会

事業計画、収支予算等の承認、事業報告・計算書類等の承認等を行うため、年2回評議員会を開催した。

③ 監事会

業務の実施状況及び財務状況を監査するため、監事会を開催した。

(3) 法人の経営管理

① 経営会議の開催

毎月、定例的に、理事長、施設長等で構成する経営会議を開催し、経営に関する基本方針等の重要案件を協議するとともに、各施設の利用状況を検証し、対応策を検討した。

また、経営会議の下部組織として、事業団職員で構成する「サービス向上部会」「研修部会」等を設置し、利用者サービスの向上対策、研修内容の改善、その他経営会議の業務に必要な事項について調査研究を行った。

② 人事労務管理

(イ) 新卒者や転職者に対する採用活動を実施するとともに、高齢者や短時間勤務職員の雇用、契約職員を対象とした正規職員登用試験、派遣社員からの採用等を行い、優秀な人材の確保に努めた。

(ロ) 全職員を対象に人事考課を実施し、職員の昇給（降給）・賞与等に的確に反映させることにより、職員処遇の公正化、職員の意識改革・能力開発及び組織運営の効率化を図った。

(ハ) 全職員を対象にストレスチェックを行い、職員のストレスの程度を把握してメンタルヘルス不調を未然に防止し、働きやすい職場づくりを推進した。

(ニ) 昨年6月、パワーハラスメント防止対策が義務付けされ、その他ハラスメント防止対策が強化されたことから、「職場におけるハラスメントの防止に関する細則」を制定するとともに、「コンプライアンス行動規範」「コンプライアンス行動基準」の遵守、コンプライアンスチェックシートによるセルフチェックを行い、コンプライアンスを推進した。

(ホ) 昨年4月、働き方改革関連法の一環として、いわゆる同一労働同一賃金を規定した「パートタイム・有期雇用労働法」が施行したことから所要の規程改正を行うとともに、年次有給休暇の取得しやすい環境等を整えるため業務改善を推進した。

(ヘ) 働き方改革の一環として労働安全衛生法が改正され、労働時間の客観的な把握が義務付けされたことから、ICカード及び勤怠管理システムの導入を試行し、適正な労働時間の把握に向けて対応した。

③ 障害者雇用の推進

障害の有無にかかわらず誰もが活躍できる社会の実現のため障害者の雇用に努めたが、新たな雇用には至らず、令和2年度の実雇用率は2・03％にとどまった。

④ 広報活動の推進

事業団ホームページにより、各施設の事業内容や決算状況、求人情報等を発信するとともに、ロゴマーク等を印刷物やホームページなどに掲載して事業団の認知度・知名度の向上を図り、イメージ（信頼度）の浸透を図った。

⑤ 関係機関との連携推進

事業団の運営をより一層発展させるため、全国社会福祉事業団協議会等との連携を推進した。

(4) 施設（設備）整備

改定後の「経営計画」に基づき、法人の経営状況を勘案しながら必要な施設（設備）整備を行った。

○ 主な施設（設備）の整備

・桃源荘空調設備及び給湯設備改修工事【第1期工事】（11、078千円）

・きぼうの家の隔離部屋2棟（ユニットハウス）の整備（1、595千円）

・もえぎ寮のDルーム及び食堂床面等改修工事（2、145千円）

・もえぎ寮の工場棟内隔離室の整備（4、620千円）

・はまなし寮の隔離部屋1棟（ユニットハウス）の整備（2、068千円）

(5) 人材の確保と福利厚生

① 人材確保対策の推進

質の高いサービスを提供し、将来の施設経営を担う優秀な介護・福祉人材を確保するため、大学や専門学校等と連携して新卒者を3名、実務経験を有する者を5名（うち看護師2名）採用した。

また、「介護職員処遇改善加算」「福祉・介護職員処遇改善加算」「福祉・介護職員等特定処遇改善加算」等を取得し、介護職員等の処遇改善に取り組んだ。

② 福利厚生事業の推進

新型コロナの感染拡大から、職員相互の親睦と職場の活性化を図る職員球技大会等のレクリエーション事業は中止としたが、職員の相互扶助と福利厚生の充実を図るため職員互助会に助成し、福祉医療機構の退職手当共済制度、全事協年金共済制度及び福利厚生センターに加入した。

また、職員の健康診断や35歳以上の職員を対象に人間ドック助成事業（5年に1回、3万円を限度に助成：令和2年度は4名利用）を実施した。

3 地域貢献

(1) 危機管理体制の整備推進

大規模災害時においても良質なサービスを継続して提供し、地域の災害時要援護者を受け入れることができるように、平成31年1月に「事業継続計画」を改定したところであるが、本年1月、各施設の「大規模災害時避難計画」を策定又は改定し、非常時における施設利用者の安全確保を図った。

また、新型コロナウイルス感染症について、入所者に感染者又は濃厚接触者が発生した場合等に備え、各施設で個室管理や生活空間等の区分けに係るシミュレーションを行って課題を洗い出し、発生時の対応に万全を期した。

① 大規模地震や豪雨災害、火災等を想定した避難・防災訓練を関係機関と協力して実施し、非常時における利用者の安全確保に万全を期すとともに、大規模災害発生時の事業継続に必要な簡易ベッド80台を整備し、その他の災害用備蓄を行った。

また、浸水によるデータ喪失に備え、継続してバックアップサーバーを設置した。

② 事業団施設の罹災等に備え、避難場所として富士ふれあいセンターを利用できるように当該施設と合意書を取り交わした。

③ 富士山噴火に備えた「はまなし寮富士山噴火避難計画」に基づく避難訓練を継続して実施し、避難行動の際の課題や避難が長期化した場合の課題等について検討した。

④ ノロウイルスやインフルエンザ等の感染症を予防し、発生時における速やかな対応を行うため、各施設で「感染症研修」を実施した。

⑤ 防犯・安全対策を推進するため、防犯カメラ等を引き続き活用した。

(2) 福祉避難所

大規模災害の発生時に、地元市町の要請に応え、地域の高齢者や障害者など災害時要援護者を可能な限り受け入れる「福祉避難所」を設置することとしているが、その機能を発揮できるように、整備した簡易ベッド等を有効活用する。

(3) 福祉の拠点施設としての機能発揮

各地域の福祉団体と協働した体験活動や認知症サポート事業所としての活動等に取り組む一方、施設において、地域行事へ積極的に参加して地域との共生を図るとともに、施設行事へ近隣住民を招待し交流を深め、実習生やボランティアを積極的に受け入れることとしていたが、新型コロナの感染拡大から多くを中止した。

Ⅱ 理事会・評議員会の開催、監査の実施

1 理事会

(1) 令和2年5月27日（水）

［議決案件］

①令和元年度事業報告の承認について

②令和元年度社会福祉事業区分収入支出決算の承認について

③令和2年度社会福祉事業区分収入支出補正予算について

④契約職員就業規則の一部改正について

⑤再雇用職員就業規則の一部改正について

⑥特別職員給与規程の一部改正について

⑦理事候補者の選定について

⑧定時評議員会の招集について

(2) 令和3年3月19日（金）

［議決案件］

①令和2年度社会福祉事業区分収入支出補正予算について

②令和3年度事業計画及び社会福祉事業区分収入支出予算について

③組織規程の一部改正について

④職員就業規則の一部改正について

⑤職員の育児・介護休業等に関する規程の一部改正について

⑥職員給与規程の一部改正について

⑦経理規程の一部改正について

⑧施設長等の選任について

⑨評議員会の招集について

2 評議員会

(1) 令和2年6月15日（月）

［報告事項］

①令和元年度事業報告について

［決議事項］

①令和元年度社会福祉事業区分収入支出決算の承認について

②令和2年度社会福祉事業区分収入支出補正予算の承認について

③理事の選任について

(2) 令和3年3月29日（月）

［決議事項］

①令和2年度社会福祉事業区分収入支出補正予算の承認について

②令和3年度事業計画及び社会福祉事業区分収入支出予算の承認について

3 監査の実施

令和2年5月25日（月）に監事会を開催し、令和元年度の業務の執行状況及び財務の状況（収支決算）について、監事による監査を受けた。

Ⅲ 法人の経営管理

1 経営会議の開催

経営に関する基本方針や予算編成方針の策定、職員採用計画、処遇改善策等の重要案件を協議するとともに、各施設の利用状況や四半期ごとの収支状況によって事業団の経営状況を把握し、必要な対応策を検討した。

また、毎回、各施設の利用状況を検証し、対応策を検討した。

(1) 令和2年4月13日（月）

・令和2年度の基本方針について

・令和2年度危機管理体制について

・令和2年度人事考課日程について

(2) 令和2年5月20日（水）

・令和元年度収入支出決算状況について

・令和2年6月期賞与の支給について

・職場におけるハラスメントの防止に関する細則の制定について

・令和2年度ストレスチェックの実施について

(3) 令和2年6月17日（水）

・令和元年度収入支出決算分析について

・内部監査の実施について

・Web会議の導入について

(4) 令和2年7月17日（金）

・令和2年度職員採用計画について

・労働時間の適切な管理について

(5) 令和2年8月20日（木）

・経営計画の改定に向けた各施設事業計画の評価、課題の抽出等の作業スケジュールについて

(6) 令和2年9月16日（水）

・令和2年度事業団内施設交流研修について

(7) 令和2年10月21日（水）

・令和3年度人事異動基本方針について

(8) 令和2年11月18日（水）

・令和2年度上半期事業活動収支状況について

・令和3年度予算編成に対する基本的な考え方について

(9) 令和2年12月18日（金）

・労働時間の適切な管理に係る時間外申請その他の対応について

・令和2年度昇格選考試験の実施について

・令和2年度正規職員登用試験の実施について

・令和2年度第3回職員採用試験の実施について

(10) 令和3年1月20日（水）

・令和3年度経営会議開催日程について

・新年度の課題及び令和3年度予算要求の重点事項について

・労働組合からの要求に対する回答について

(11) 令和3年2月17日（水）

・サテライト桃源荘における給食業務の改善について【報告事項】

(12) 令和3年3月9日（火）

・職員就業規則等の一部改正について

・令和3年度研修計画について

・高齢者施設の食費の見直しについて

・希望制人間ドック助成事業実施要領の改正について

・令和2年度人事考課の調整について

2 危機管理対応会議の開催（経営会議と同一メンバーで構成）

東海地震、東南海地震等の大規模地震や豪雨災害、富士山噴火などの大規模な災害に備えた危機管理体制を整え、災害時等における諸課題を協議するため、危機管理対応会議を開催した。

(1) 令和2年6月17日（水）

・「はまなし寮における富士山噴火総合避難訓練」の実施について

・新型コロナウイルス感染症に係る必要物品の備蓄について

・簡易ベッド整備計画について

(2) 令和2年7月17日（金）

・新型コロナウイルス感染症発生に備えた対応について

・感染管理（ゾーニング等）の考え方

・新型コロナウイルス感染症発生時の具体的な対応事例について

・大規模災害時避難計画の策定について

(3) 令和3年1月20日（水）

・大規模災害時避難計画の策定について

・富士山噴火総合避難訓練実施報告について

3 人事労務管理

(1) 職員の状況（R2年度又はR3・4・1現在）

① 職員定数／319人（経営計画：常勤換算後）

② 令和3年度当初職員数／301・9人（常勤換算後、実員320人）

③ 採用者数（正規登用を除く。） 27人（正規職員8人、契約職員19人）

④ 退職者数／31人（正規職員20人、契約職員11人）

⑤ 正規職員登用数／7人（③の採用者数に含まない。）

⑥ 人事関係日程

令和2年4月1日（水） 採用、昇任等辞令交付

令和2年6月1日（月） 6／1付け採用辞令交付（看護師）

令和2年7月7日（火） 職員採用試験（第1回）

令和2年10月21日（水） 令和3年度人事異動基本方針の決定

令和2年12月11日（金） 職員採用試験（第2回）

令和2年12月14日・15日 理事長人事ヒアリング

令和3年1月4日（月） 1／1付け採用（正規職員登用）辞令交付（介護士）

令和3年1月12日（火） 1／12付け採用辞令交付（看護師）

令和3年1月21日（木） 昇格選考試験

令和3年2月10日（水） 職員採用試験（第3回）

令和3年2月15日（月） 正規職員登用試験

令和3年3月9日（火） 人事考課調整会議

令和3年3月10日（水） 職員採用試験（第4回）

令和3年3月31日（水） 退職辞令交付

(2) 職員の福利厚生【職員互助会の活動】

・職員相互の親睦と職場の活性化を図るため例年実施しているレクリエーション事業（球技大会、グラウンドゴルフ大会及びボウリング大会）及び同好会・クラブの活動に対して助成金を交付する元気回復事業は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて中止し、代替事業として2、000円分のQUOカードを全職員に配布した。

・職員の資質向上を図り、専門資格取得を奨励するため、資格を取得した職員に奨励金（20千円）を支給した。（介護福祉士6名）

・臨時の支出や資金を必要とする職員に貸付を行った。（6件：1、160千円）

・結婚、出産、傷病等に対して給付事業を行った。

Ⅳ その他

1 広報活動の推進

事業団のホームページに、基本理念や経営方針、事業報告・決算状況、各施設の事業内容や顧客満足度調査の結果、求人情報などを掲載するとともに、事業団職員としての自覚と誇りを喚起し職員同士の一体感を醸成するため、広報紙「ハーモニー」を四半期ごとに発行（各450部）した。

また、各施設に広報責任者及び担当者を配置し、各施設が行う様々な事業や活動などの情報を積極的に発信した。

2 関係機関との連携

事業団の運営をより一層発展させるため、全国社会福祉事業団協議会が主催する全国大会、関東・甲信越ブロックの会議、研修会等に参加を予定したが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けてすべて中止となった。

令和2年度決算報告

総　括

令和2年度の決算状況から、豊寿荘の養護、特定及び特養、桃源荘の小規模特養並びにもえぎ寮において前年度の利用率を上回ったものの、新型コロナウイルスの感染拡大の影響等から、サテライト桃源荘のデイサービスや認知症デイサービス及び桃源荘の短期入所の利用者は減少し、きぼうの家の就労移行支援も利用者が少なく厳しい状況が続いている。また、はまなし寮は、退所後に新たな入所者が入らない状況がなかなか改善されず、明生学園も入所児童が3人減の25人となったが、どちらも前年度並みの収支差額を確保した。その結果、収支差額比率は、改定後の「経営計画」に掲げた目標4・7％を下回る3・6％となった。

法人単位貸借対照表

令和3年3月31日現在

（単位:円）

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	854,168,625	386,565,688	17,602,937	流動負債	345,645,047	336,960,098	8,684,949
現金	636,506	610,693	25,813	事業未払金	89,671,153	81,168,433	8,502,720
預金	525,656,274	501,416,077	24,240,197	その他の未払金	544,470	1,897,500	−1,353,030
事業未収金	319,067,673	326,865,317	−7,797,644	1年以内返済予定設備資金借入金	36,276,000	35,696,000	580,000
未収補助金	288,784	232,800	55,984	1年以内返済予定リース債務	16,740,528	18,713,900	−1,973,372
貯蔵品	219,095	235,050	−15,955	1年以内支払予定長期未払金	168,000	0	168,000
給食用材料	7,798,269	7,541,822	256,447	預り金	871,266	1,533,070	−661,804
立替金	141,000	74,550	66,450	職員預り金	71,136,308	68,006,987	3,129,321
前払金	959,828	564,722	395,106	仮受金	0	1,640	−1,640
前払費用	72,418	111,930	−39,512	賞与引当金	130,237,322	129,942,568	294,754
1年以内費用代長期前払費用	746,306	746,306	0	固定負債	743,354,645	795,014,867	−51,660,222
仮払金	19,096	0	19,096	設備資金借入金	532,341,000	568,617,000	−36,276,000
その他の流動資産	4,174	0	4,174	長期運営資金借入金	34,000,000	34,000,000	0
徴収不能引当金	−1,440,798	−1,833,579	392,781	リース債務	23,513,586	34,091,364	−10,577,778
固定資産	4,600,107,054	4,828,044,337	−227,937,283	退職給付引当金	29,672,400	30,195,924	−523,524
基本財産	4,063,119,623	4,271,291,660	−208,172,037	全事協年金共済退職給付引当金	123,323,659	128,110,579	−4,786,920
土地	217,362,900	217,362,900	0	長期未払金	504,000	0	504,000
建物（基）	3,832,456,723	4,040,628,760	−208,172,037	負債の部合計	1,088,999,692	1,131,974,965	−42,975,273
定期預金	13,300,000	13,300,000	0				
その他の固定資産	536,987,431	556,752,677	−19,765,246	純資産の部			
建物（固）	5,343,806	2,274,696	3,069,110	基本金	16,878,000	15,950,000	928,000
構築物（固）	179,742,149	193,873,872	−14,131,723	基本金	16,878,000	15,950,000	928,000
機械及び装置	14,078,441	16,429,915	−2,351,474	国庫補助金等特別積立金	1,804,397,785	1,883,542,247	−79,144,462
車輌運搬具	3,138,628	3	3,138,625	国庫補助金等特別積立金	1,804,397,785	1,883,542,247	−79,144,462
器具及び備品	58,686,436	56,845,877	1,840,559	その他の積立金	78,810,000	73,960,000	4,850,000
建設仮勘定	1,798,051	0	1,798,051	施設整備等積立金	59,550,000	54,700,000	4,850,000
有形リース資産	34,091,364	52,805,264	−18,713,900	人件費積立金	19,260,000	19,260,000	0
権利	2,006,805	1,272,124	734,681	次期繰越活動増減差額	2,465,190,202	2,559,182,813	−93,992,611
ソフトウェア	92,794	197,969	−105,175	次期繰越活動増減差額	2,465,190,202	2,559,182,813	−93,992,611
無形リース資産	6,162,750	0	6,162,750	（うち当期活動増減差額）	−89,142,611	−124,113,293	34,970,682
退職給付引当資産	29,672,400	30,195,924	−523,524				
全事協年金共済退職給付引当資産	123,323,659	128,110,579	−4,786,920				
措置施設繰越特定資産	37,260,000	36,260,000	1,000,000				
施設整備等積立資産	41,550,000	37,700,000	3,850,000				
長期前払費用	40,148	786,454	−746,306	純資産の部合計	4,365,275,987	4,532,635,060	−167,359,073
資産の部合計	5,454,275,679	5,664,610,025	−210,334,346	負債及び純資産の部合計	5,454,275,679	5,664,610,025	−210,334,346

脚注　減価償却累計額　1,809,000,055円　　徴収不能引当金　1,440,798円

※貸借対照表は、会社がどれくらいのお金と借金があるのかということを表しています。資産は会社が持つお金（あるいは、お金にかえることができるもの）です。資産は、会社が発足したときの資本金やこれまでの利益（これらが資本になります）、そして外部からの借金（負債になります）でできています。ですから、必ず、資産＝負債＋資本（純資産）が成り立ちます。R2年度における当法人の当期正味財産の増減額は、−167,359,073円となりました。

法人単位事業活動計算書

自:令和2年4月1日
至:令和3年3月31日

（単位:円）

勘定科目			当年度決算(A)	前年度決算(B)	差異(A)−(B)
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益	1,043,567,617	1,040,369,710	3,197,907
		老人福祉事業収益	123,593,600	117,081,256	6,512,344
		児童福祉事業収益	149,494,759	160,015,883	−10,521,124
		就労支援事業収益	3,044,444	1,615,306	1,429,138
		障害福祉サービス等事業収益	958,546,110	950,495,750	8,050,360
		経常経費寄附金収益	179,644	204,655	−25,011
		サービス活動収益計(1)	2,278,426,174	2,269,782,560	8,643,614
	費用	人件費	1,618,376,002	1,575,784,615	42,591,387
		事業費	340,694,991	345,194,861	−4,499,870
		事務費	232,069,294	225,781,008	6,288,286
		就労支援事業費用	4,364,444	2,897,571	1,466,873
		利用者負担軽減額	2,650,246	2,298,989	351,257
		減価償却費	267,945,452	265,880,374	2,065,078
		国庫補助金等特別積立金取崩額	−93,373,431	−92,794,590	−578,841
		徴収不能引当金繰入	5,315	318,094	−312,779
		サービス活動費用計(2)	2,372,732,313	2,325,360,922	47,371,391
		サービス活動増減差額(3)=(1)−(2)	−94,306,139	−55,578,362	−38,727,777
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益	1,269,450	1,438,710	−169,260
		受取利息配当金収益	145,301	93,186	52,115
		その他のサービス活動外収益	7,922,640	9,060,612	−1,137,972
		サービス活動外収益計(4)	9,337,391	10,592,508	−1,255,117
	費用	支払利息	3,790,810	3,873,170	−82,360
		その他のサービス活動外費用	4,265,245	4,823,289	−558,044
		サービス活動外費用計(5)	8,056,055	8,696,459	−640,404
		サービス活動外増減差額(6)=(4)−(5)	1,281,336	1,896,049	−614,713
		経常増減差額(7)=(3)+(6)	−93,024,803	−53,682,313	−39,342,490
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	14,228,969	1,000,000	13,228,969
		施設整備等寄附金収益	987,000	0	978,000
		固定資産受贈額	3,430,800	0	3,430,800
		固定資産売却益	3,300	430,333	−427,033
		その他の特別収益	398,096	5,631	392,465
		特別収益計(8)	19,039,165	1,435,964	17,603,201
	費用	基本金組入額	928,000	0	928,000
		固定資産売却損・処分損	4	224,655,003	−224,654,999
		国庫補助金等特別積立金取崩額（除却等）	0	−152,788,059	152,788,059
		国庫補助金等特別積立金積立額	14,228,969	0	14,228,969
		特別費用計(9)	15,156,973	71,866,944	−56,709,971
		特別増減差額(10)=(8)−(9)	3,882,192	−70,430,980	74,313,172
		当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	−89,142,611	−124,113,293	34,970,682
繰越活動増減差額の部		前期繰越活動増減差額(12)	2,559,182,813	2,723,282,088	−164,099,257
		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	2,470,040,202	2,599,168,795	−129,128,593
		基本金取崩額(14)	0	0	0
		その他の積立金取崩額(15)	0	14,018	−14,018
		その他の積立金積立額(16)	4,850,000	40,000,000	−35,150,000
		次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)−(16)	2,465,190,202	2,559,182,813	−93,992,611

※事業活動計算書は、その年度の法人の事業活動の成果を表すものであり、当期の純資産の増加は、事業活動の成果に他なりませんので、それを「当期活動増減差額」と呼んでいます。貸借対照表の純資産の部の「当期活動増減差額」とイコールになります。法人の純資産が、どのような原因で増加したのかを明らかにした計算書です。

法人単位資金収支計算書

自:令和2年4月1日
至:令和3年3月31日

（単位:円）

勘定科目			予算(A)	決算(B)	差異(A)−(B)
事業活動による収支	収入	介護保険事業収入	1,037,811,000	1,043,567,617	−5,756,617
		老人福祉事業収入	121,049,000	123,593,600	−2,544,600
		児童福祉事業収入	149,611,000	149,494,759	116,241
		就労支援事業収入	4,425,000	3,044,444	1,380,556
		障害福祉サービス等事業収入	963,845,000	958,546,110	5,298,890
		借入金利息補助金収入	1,269,000	1,269,450	−450
		経常経費寄附金収入	157,000	179,644	−22,644
		受取利息配当金収入	146,000	145,301	699
		その他の収入	6,974,000	7,922,640	−948,640
		事業活動収入計(1)	2,285,287,000	2,287,763,565	−2,476,565
	支出	人件費支出	1,640,195,000	1,618,604,772	21,590,228
		事業費支出	356,090,000	340,615,982	15,474,018
		事務費支出	238,221,000	232,069,294	6,151,706
		就労支援事業支出	4,425,000	4,364,444	60,556
		利用者負担軽減額	2,730,000	2,650,246	79,754
		支払利息支出	3,793,000	3,790,810	2,190
		その他の支出	4,452,000	4,265,245	186,755
		事業活動支出計(2)	2,249,906,000	2,206,360,793	43,545,207
		事業活動資金収支差額(3)=(1)−(2)	35,381,000	81,402,772	−46,021,772
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	14,095,000	14,228,969	−133,969
		施設整備等寄附金収入	778,000	978,000	−200,000
		固定資産売却収入	3,000	3,300	−300
		施設整備等収入計(4)	14,876,000	15,210,269	−334,269
	支出	設備資金借入金元金償還支出	35,697,000	35,696,000	1,000
		固定資産取得支出	28,909,000	28,895,123	13,877
		ファイナンス・リース債務の返済支出	20,576,000	20,357,300	218,700
		施設整備等支出計(5)	85,182,000	84,948,423	233,577
		施設整備等資金収支差額(6)=(4)−(5)	−70,306,000	−69,738,154	−567,846
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	478,000	523,524	−45,524
		その他の活動収入計(7)	478,000	523,524	−45,524
	支出	積立資産支出	4,850,000	4,850,000	0
		その他の活動支出計(8)	4,850,000	4,850,000	0
		その他の活動資金収支差額(9)=(7)−(8)	−4,372,000	−4,326,476	−45,524
		予備費支出(10)	0	−	0
		当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)−(10)	−39,297,000	7,338,142	−46,635,142
		前期末支払資金残高(12)	677,503,000	677,503,509	−509
		当期末支払資金残高(11)+(12)	638,206,000	684,841,651	−46,635,651

※支払資金の増減原因を内容別に記載した計算書が、「資金収支計算書」になります。また、支払資金の増加額を、「当期資金収支差額」と呼んでいます。支払資金は、貸借対照表の流動資産及び流動負債（引当金等を除く）の差額で、その残高は、流動資産の額が流動負債（引当金等を除く）の額を超える額となります。

Pen Relay

ペンリレー

「地元の今を見て」

総括支援員
齊藤（さいとう）　一広（かずひろ）

先日、市役所に用事があり手続をして待っている間、周りを見渡すと市民課の壁に現在の人口や男女比などが掲示されていて、その数は、人口22，876人となっていました。

これは私の出身地の大月市の人口で、私が小学生の頃は、確か四万人近くいたなと思い、少し資料を見てみました。

昭和40年代は、3万8千人くらいた人口が、平成4年に3万5千人を割り、減少の一途をたどり現在の2万2千人台となっています。となると、当然子供の数も減り、小中学校の数も統廃合され、15校あった小学校が5校に、8校あった中学校が2校になっています。私の卒業した小学校も、すでに廃校になり、映画の口ケ地を経て、現在は取り壊され企業の工場が建っています。廃校になった当時、自分の通っていた学校がなくなるのはやはり寂しかったことを覚えています。

そして、やはり今はコロナ禍ということでワクチン接種の状況が話題になりますが、大月市の65歳以上の割合が約40％、高齢者接種が終わればすでに半数近くが終了していることになることに驚くと同時に、大月市の将来に不安を感じてしまいました。ちなみに山梨県は人口80万人で全国42番目でした。

私的には東京にも甲府にも一時間、とても良い所だと思っているので、コロナが終息して自由に動けるようになった時、大月市に来てもらいたいという思いで少し紹介していきます。まず、登山をしている人やこれから始めようと考えている人に、もえぎ寮の裏山の百蔵山や扇山など日帰り登山に大人気です。（結構来てます）桂川では猿橋を通るラフティングボート（結構楽しいです）、お土産になるかは微妙ですが、ちょっとお高めの新感覚をうたっている桃太郎納豆など、ぜひ体感してもらえればと思います。

今、地元や山梨県の活性化のため、身近な所から意識してみるのも良いかもしれませんね。

研修部会より

新任職員研修Ⅰ

この研修は、令和3年度4月1日に採用された職員を対象に実施しています。

午前は、宮澤理事長より「事業団の概要及び新任職員として期待すること」、和田室長より「職員の服務」等について講義をいただきました。皆さん緊張しながらも真剣な表情で聞いていました。

午後は「①利用者様との関わり方（距離感・問題行動）について」「②人手不足時の対応について」「③支援方法が統一されていないことについて」をテーマにグループワークが行われ、課題解決に向け思いや考えが交わされました。

研修の最後には、事務局石川さんの職員提案「職員の心を豊かにする活動」から、アロマオイル認定講師をお招きし、エッセンシャルオイルの香りの取り入れ方や簡単にできるハンドマッサージ体験を行いました。

受講者の声

- 悩みや思いなどを他の人たちと共有し、解決策を考えることで今後の仕事に繋げていこうと思えた。不安が軽くなりました。
- 同期と同じ悩みを共有できて良かった。
- 事業団を知ることができた。
- アロマは最後にとても癒された。
- 施設見学ができればもっと良かった。

職員直撃インタビュー

STAFF INTERVIEW

Staff Interview

はまなし寮
介護士
石倉（いしくら） 匠（たくみ） さん

Q どうして事業団（施設）を選びましたか?
A 学生時代、はまなし寮に実習へ来ていた時、先輩方が丁寧に教えてくれました。その先輩から事業団に来ないかと誘われたことがきっかけで就職を決めました。

Q この仕事を選んだ動機。
A 元々、人の世話をすることが好きで、実習の時、介護を通じて利用者様の生活の手助けが出来ればいいなと思ったことがきっかけです。

Q この仕事には何が大事だと思いますか。
A 気付きの心を持つことだと思います。複数の利用者様を相手にする仕事で大変だと思いますが、小さな気付きから利用者様との信頼関係が築けるのだと思います。

Q 仕事のやり方や工夫している事はどんな事ですか。
A 常に相手の立場に立って、何を考えてどう行動するか意識しながら仕事に当たっています。

Q 利用者様から言われて嬉しかったことを教えてください。
A 感謝されると素直に嬉しいです。これからも同様の支援を続けていきたいです。

Q 社会人になってから始めた事・趣味を教えてください。
A 車好きの仲間といろんな場所へドライブに出掛けることが楽しみです。一眼レフで写真を撮ることも好きです。

Q 好きなスポーツは?
A サッカー、相撲、バスケ、柔道です。

Q 今の仕事についていなかったら何になっていたか?
A 車の整備士か大工

Q 今、はまっている事、食べ物はありますか。
A 芋ケンピ、パンの耳のラスク

Q おすすめスポットはありますか。
A 地元だと山中湖の「グータン」と言うお店がおススメです。ヨーロピアン風の建物でカフェやランチが楽しめる他、ミニチュアのドールハウスを見学することも出来ます。

Q 仕事をしていて楽しいと感じる時はどんな時ですか?
A 人から感謝されることが好きなので、どうすれば利用者様の役に立てるかを考えている時は楽しいかも?です。

Q 最近のちょっとした自慢話。
A 車を買いました。昔からMINIが好きで、やっと手に入れることが出来ました。

Staff Interview

はまなし寮
介護士
野武（のたけ） 彩花（あやか） さん

Q どうして事業団（施設）を選びましたか?
A 学生時代、はまなし寮に実習へ来ていた時、大変お世話になったことがきっかけです。

Q この仕事を選んだ動機。
A 人と関わる仕事がしたいと思っており、実習でお世話になった方のように利用者様との信頼関係を築けたら素敵だなと思い、今の職場を選びました。

Q この仕事には何が大事だと思いますか。
A 「思いやり」を持つことだと思います。介護は、1人では出来ない仕事です。常に相手の立場に立って、どのようにしたら効率的で、他の職員が助かる事を率先して出来るか、を意識して仕事するとチームワークが強まるのではないかと思います。

Q 仕事のやり方や工夫している事はどんな事ですか。
A 報(報告)・連(連絡)・相(相談)が苦手なので、常に心掛けています。

Q 利用者様から言われて嬉しかったことを教えてください。
A 「(利用者様との約束により)来てくれてよかったよ。」「ありがとう」の感謝が嬉しかった。

Q 社会人になってから始めた事・趣味を教えてください。
A 「猫」などの動物の動画を見る事です。癒されます。

Q 好きなスポーツは?
A 軽いウォーキング、水泳です。運動不足解消になります。

Q 今の仕事についていなかったら何になっていたか?
A 事務系の仕事かな?

Q 今、はまっている事、食べ物はありますか。
A ネットサーフィン、こんにゃくゼリー

Q 仕事をしていて楽しいと感じる時はどんな時ですか?
A 利用者様の笑顔が見られたときです。体力的に辛く感じる時でも、利用者様の笑顔を見ただけで元気になりますし、また頑張ろうという気持ちにもなります。

Q 今後の抱負を聞かせてください。
A 仕事のすべてが出来るわけではないので、1つ1つ丁寧に、自分が出来る事を一生懸命やっていきたいと思います。

Staff Interview

桃源荘
介護士
広瀬（ひろせ） 千紘（ちひろ） さん

Q 事業団に入ったきっかけは?
A 友人の誘いです。前の職場を辞めて違う仕事をしていたら、その友人に「また介護をやらない?」と誘われ入りました。

Q 休日の過ごし方はなんですか?
A 子供と遊んでいます。普段、仕事で出かけられないので、とにかく外で遊んでいます。
平日休みは子供が保育園なので、家の事をしたり、友達とランチへ行ったりしています。
たまーに、1人カラオケに行っています。

Q おすすめの映画はありますか?
A 「私の頭の中の消しゴム」「僕の彼女を紹介します」です。

両方とも韓国映画ですね。とにかく泣けます!!

Q 旅行に行けるならどこに行きたいですか?
A 海外に行ってみたいです。でも、日本語しか話せないので、とりあえず日本人が多いグアムかハワイに行きたいです。

Q 魚派ですか? 肉派ですか?
A 両方とも好きです。

Q 1つだけ願いが叶うなら何をお願いしますか?
A 毎年、七夕の短冊に書いてますが「世界平和」です。
戦争や飢餓がなくなり、世界中の人々が普通に暮らせることを願ってます。

Q 今はまっているものはありますか?
A 息子と消防士見学です。私は、あのオレンジを見るだけで興奮します(笑)
それから、バレーボールです。
今、ママさんバレーをやっていて現役時代とは違うポジションでとにかく見ているより、やってるのが楽しいです。年の離れた妹と同じコートに立っている姿を親が見たいとの事で、それが親孝行にも繋がっているのかな?と。

Q 今後の抱負を教えてください。
A 仕事もプライベートも充実させていく。
毎日楽しく過ごす!!
"今を生きる!そして熱く死ぬ"をモットーに!!(笑)

Staff Interview

桃源荘
介護士
内藤（ないとう） かずき さん

Q この仕事の魅力はなんですか?
A 年配の方と関われることだと思います。人生の先輩の昔の経験談を聞けるのは貴重だと思います。また、様々な介助・支援の方法を直に学べることだと思います。

Q 日々の仕事で心掛けていることはなんですか?
A 笑顔で利用者様と接するように心掛けています。

Q 好きなスポーツはなんですか?
A バレーボールです。今はコロナ禍で行えませんが、体育館を借りてやっていました。
学生時代もやっていました。

Q 好きな食べ物はなんですか?
A アイスが好きです。サーティーワンのアイスを良く食べます。夏でも冬でも!!

Q 特殊能力が使えるならどんな能力がいいですか?
A 人の気持ちを読める能力ですかね。
話せない利用者様の真の気持ちを知り、コミュニケーションをとってみたいです。

Q 好きな歌手は誰ですか?
A 西野カナやあいみょんです。女性シンガーが好きで、車でよく聴いています。

Q ディズニー派ですか?USJ派ですか?
A ディズニー派です。ランドが好きです。
USJには行ったことがなく、ハリーポッターが好きなので行ってみたいです。

Q 今年はどんな年にしたいですか?漢字1文字でお願いします。
A 「楽」です。楽しく笑顔で明るい1年にしたいです。また、コロナ禍の中で少しでも楽になればと希望もあります。

施設の取り組み・紹介

豊寿荘

おりがみ

特養では、6月の季節に合わせ、折り紙で紫陽花作りをしました。

最初は、職員が折り方を説明すると「こうだね」「こうするだね」と言いながら、段々と手慣れた様子で沢山折りました。折った折り紙を色画用紙に貼り付けると、「綺麗だね」と完成した作品を喜んでいました。

これからも、季節感あふれる制作物を利用者様と一緒に楽しみながらつくっていきたいと思います。

カラオケ

養護では、5月から毎週日曜日にカラオケをすることになりました。

カラオケが好きで積極的に歌う利用者様は、「久しぶりで声が出なかったよ」とか「次は何を唄おうかな」と皆さん楽しまれています。また、歌うことは少し照れてしまうが、聞くのが好きという利用者様もおり、手拍子をしながら楽しい時間を過ごしている方もいます。

唄うことは、脳の活性化（認知症予防）、嚥下機能にもとても良いといわれており、カラオケには様々な健康効果が期待できそうです。今後も、利用者様が楽しみを持って生活して頂けるような機会を提供していきたいと思います。

施設行事レポート

はまなし寮

春祭り

5月14日に春祭りを行いました。今年は利用者・職員から参加を募った「のど自慢大会」を開きました。特設ステージの上で好きな歌を歌い、皆さん大変盛り上がりました。

もえぎ寮

G.Wイベント! みんな集まれ全員集合!

当日は天候にも恵まれ、ミニ模擬店を出店し、焼きそば・唐揚げ・綿菓子作り・デザートから好きなものを選んで食べました。

午後からはビンゴゲームをしたり、動画鑑賞「2020もえぎ寮の思い出」を観ながら、皆で1年の思い出を振り返り楽しい時間を過ごすことができました。

サテライト桃源荘

やさい畑

認知症デイサービス「サンピーチ」では、5月にトマト・落花生・スイカ・かぼちゃの苗植えを行いました。畑作業が得意な方が多く、慣れた手つきで苗植えを楽しむ事ができました。虫が苦手な職員が多い中皆さん本当に頼もしかったです。

落花生は、今年で3年目に入りました。今年も「サンピーチの野菜」が上手にできますように。

豊寿荘

梅ジュース

6月2日に梅ジュース作りを行いました。

青梅のヘタを竹串で取り除き、梅に数か所穴を開ける作業をしました。

とても力のいる作業でしたが、2週間後の出来上がりを楽しみにしていました。

完成した梅ジュースを飲まれ、「ほんのりした酸っぱさ、甘さもちょうど良くて美味しかった」と利用者様に喜んでいただけました。

明生学園

畑の収穫

今年度は、コロナ禍で外出自粛という事もあり、明生学園では学園内にある畑作業に力を入れています。時には子どもたちと草取りや水やり、収穫まで一緒に行います。低学年の子は収穫したきゅうりを切って味噌につけて食べ、高学年の子は収穫したバジル使って生地からピザ作りを行いました。自分たちの手で育てたものを収穫して、料理することで、食の有難さや育てる過程を一緒に学ぶことができました。

球技大会

ゴールデンウィークレクとして、児童・職員で球技大会を行いました。外出自粛で運動不足になりがちですがサッカー、ドッジボールを行い、みんなで体を動かしました。休憩時間には、ジュースやおやつを食べながらみんなで談笑している姿もみられています。

きぼうの家

きぼうの家の畑

毎年5月に苗植えを行っています。今年も利用者様、職員で一緒にスイカとサツマイモの苗植えを行いました。おいしいスイカとサツマイモが出来るといいです。8月にスイカ割、10月にサツマイモの収穫祭を行う予定です。

発行者
社会福祉法人
山梨県社会福祉事業団
〒400-0833 山梨県甲府市西油川町1171-1
TEL 055-288-1018 FAX 055-288-1248 URL http://www.yfj.or.jp/

職員の動き（敬称省略）

役員交代
令和3年6月15日付発令

退任理事
理　事 成島春仁
理　事 山下滋夫
理　事 小林治人

新任理事
理　事 下川和夫
理　事 伊藤健次
理　事 榊原　宏

退任評議員
評議員 上野　肇
評議員 渡邊良博
評議員 村田昭彦
評議員 石井始天

新任評議員
評議員 浅原知義
評議員 大澤利嗣
評議員 武川弘宗
評議員 佐藤千代美

人事異動

退職
令和3年6月30日付発令

はまなし寮
看護師 岡田由美子

採用
令和3年6月1日付発令

きぼうの家
准看護師 中込美穂

はまなし寮
准看護師 並木一裕

豊寿荘
令和3年6月14日付発令
准看護師 小松智子

資格取得 ―― 介護福祉士

桃　源　荘　介護士　林　　宏明（令和3年4月9日）
きぼうの家　介護士　青柳　博子（令和3年4月13日）
きぼうの家　介護士　小林　珠美（令和3年6月2日）

ご結婚 congratulations

令和3年6月10日
桃源荘 介護士 山下 亜希 さん（旧姓：鶴田）

ご出産 congratulations

令和3年4月24日
宮川 茉莉花（みやがわ まりか）ちゃん
［桃　源　荘　介護士　宮川 淳基
サテライト桃源荘　介護士　宮川 有希］

令和3年5月13日
羽中田 圭（はちゅうだ けい）くん
［きぼうの家　主任介護士　羽中田 亜南］

令和3年5月27日
前嶋 彩葉（まえじま いろは）ちゃん
［桃　源　荘　介護士　前嶋 聖楽
きぼうの家　介護士　前嶋 輝希］

令和3年6月6日
渡邉 那紬（わたなべ なつ）ちゃん
［きぼうの家　主任介護士　渡邉 久美子］

編集後記

コロナウイルスの蔓延から、運動不足になる人が増えているようです。ウォーキングやジョギング、サイクリングは密にならない運動として勧められています。身体が資本の仕事なので、健康・体調管理には気を使っていきたいですね。

事業団でも老人施設を中心にコロナワクチンの接種が進んでいます。ワクチンを接種してもマスクの着用や手洗いなど基本的な感染対策は欠かせないと思いますが、少しでも今までの日常が取り戻せるといいなと思います。

サテライト桃源荘
井田 憲治

新人さん紹介

令和3年5月～7月

①抱　負 ②趣味・特技

NEW FACE

豊寿荘
准看護師 小松智子（こまつともこ）さん

① 新しい職場で頑張る。仕事もプライベートも充実させたい。

② ・カラオケ
・ライブ参戦
・ダンス

きぼうの家
准看護師 中込美穂（なかごみみほ）さん

① 一生懸命、頑張ります。

② ・映画鑑賞

はまなし寮
准看護師 並木一裕（なみきかずひろ）さん

① 一日も早く戦力になれるよう努力します。

② ・旅行
・ゴルフ

もえぎ寮
業務員 尾之内貴（おのうちたかし）さん

① 皆さんと楽しい時間を過ごしたいと思っています。

② ・趣味：鉄道関連すべて
・特技：手話通訳奉仕員